

南日本放送

活動名	メディアへの理解を深める
実施期間	令和7年11月16日
実施回数	施設訪問1回

【実施施設】 鹿児島市立少年自然の家「ジュニア創志塾」

【事業実施の成果・課題】

まずは番組制作について話をした。番組制作には、テレビに出演している人だけではなく、多くの人が関わっており、それぞれのスタッフが役割を果たし、番組が出来上がっていることを伝えた。その上で、VTRを2本視聴した。

1 本目は「ニュースができるまで～熱血太郎奮闘記～」を視聴。ニュースを伝える際に大切な「速報性」「正確性」「公平性」「公共性」について学んでもらった。ときおり笑いも起きるなど、楽しみながら見ることができた。

2 本目は、ニュースの特集「学校の土曜授業について」を視聴してもらった。身近な話題であり興味をもって見てもらえた。生徒側の意見、教育委員会の考えなど、様々な立場の意見を知ることが、とても大事であることを伝えた。メディアの情報が、考えるきっかけになることも伝えた。その後、気象予報士の体験談も交えながら、情報がどのような段階を経て視聴者に伝えられているのかを解説した。

【事業担当者・講師の感想】

VTR「ニュースができるまで～熱血太郎奮闘記～」は興味深く観てもらえたと思う。また、講義の部分では、パワーポイントにも動きをつけたり、クイズを交えて飽きさせないように工夫した。その点は、評価をいただけたように思う。

受講した小学生の皆さんは、とても意識が高く、知識欲のある子どもたちが多かった。メディアについて、理解を進めてくれたのではないかと思います。今回の講話が子どもたちにとって意義あるものになったら幸いです。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

＜担当者の感想＞

- ・「次世代を切り拓く青少年育成事業」は毎年開講している。身近ではあるがあまり知らない、放送局の事を聞けて子どもたちにとって大変貴重な経験となった。

＜子どもたちの感想＞

- ・映像はとても分かりやすかった
- ・気象予報士の合格者の最年少が、小学校 6 年生と聞いて、テレビの天気予報をもっと熱心に聞こうと思った。
- ・ニュース番組を見る時には、今日学んだ事を考えながら見てみようと思った。